



ダイバーシティを推進する三重県・四日市で多文化共生を考える 7月27日公開シンポジウム「~つなぐ~ 多文化共生社会の実現に向けて」開催

国際交流基金は、公開シンポジウム「~つなぐ~多文化共生社会の実現に向けて」を開催します。入管法の改正等で、多文化共生を取り巻く状況が急激に変化する中、多文化共生社会の実現に向けた課題を共有するとともに、今できる取組みについて考えます。地域に根ざした国際交流団体を顕彰する国際交流基金地球市民賞を受賞した全国の団体が集まり、互いの知恵を共有し、課題について議論します。

今回の開催地である三重県は、外国人の住民の割合が全国的に見ても高く、平成30年1月1日時点で2.60%(47,671人)、全国第4位です(出典:総務省ホームページ)。日系ブラジル人住民に加え、アジア系住民も増加しており、入管法の改正も相まって、新たな多文化共生社会づくりに向けての指針を改定するタイミングを迎えています。

本シンポジウムでは、ダイバーシティを積極的に推進している三重県の現在の取組みとこれからについて、鈴木英敬県知事が登壇・紹介します。また、在住外国人の高齢化が進む中で必要となっている取組み、社会課題にアートを生かす方策等についても、三重県の活動を交えて広く紹介、議論を展開する予定です。

メディアの皆様におかれましては、ぜひご取材くださいますよう、お願いいたします。





記

開催日時: 2019年7月27日(土)13時~17時

会場 : じばさん三重(公益財団法人三重北勢地域地場産業振興センター)

(三重県四日市市安島 1-3-18 / アクセス http://jibasanmie.or.jp/access.html)

進行 : 13 時 開会

13 時 15 分 オープニングセッション (対談)

13 時 45 分 第 1 セッション「つなぐ人と組織をどう育てる?」 15 時 20 分 第 2 セッション「壁をこえる、つながるアート」

16 時 40 分 クロージングセッション

主催 : 国際交流基金

後援 : 三重県、四日市市、三重県文化振興事業団、三重県国際交流財団

- ※各セッションの詳細な内容、登壇者などにつきましては、次頁をご参照ください。
- ※ご関心のセッションのみご取材いただくことも可能です。広報担当者までお問い合わせください。

この件に関するお問い合わせ:

国際交流基金 コミュニケーションセンター (広報担当:熊倉、原田)

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp



PRESS RELEASE

取材のお願い



【プログラム詳細】※以下敬称略

■13 時 開会

主催者挨拶: 柄 博子 (国際交流基金 理事)

後援者挨拶: 鈴木 英敬 (三重県知事) 後援者挨拶: 森 智広 (四日市市長)

企画趣旨説明:田村 太郎 (2018 年度国際交流基金地球市民賞 選考委員、ダイバーシティ研究所 代表理事)

■13 時 15 分 オープニングセッション (対談)

テーマ: 「多文化共生の必要性 三重県の取り組み」〜異なる文化的背景を生かして一緒に築く地域社会〜

登壇者: 鈴木 英敬 (三重県知事)

藤沢 久美 (2018 年度国際交流基金地球市民賞 選考委員、シンクタンク・ソフィアバンク代表)

概要: 入管法改正に伴う三重県の現在(いま)と目指すべき社会に向けての今後の取り組みについて。

■13 時 45 分 第 1 セッション「つなぐ人と組織をどう育てる?」

登壇者: 池田誠 (北海道国際交流センター 専務理事) [北海道]

堀 永乃 (グローバル人財サポート浜松 代表理事) [静岡県]

八木 浩光 (熊本市国際交流振興事業団事務局長) [熊本県]

モデレーター: 田村 太郎

概要: 日々の活動の中で、様々な立場の人々と、どうつながり、連携し、その関係を育てて行くのか。各地域で

多文化共生の橋渡しとして活躍しているキーパーソンの話を聞く。

■15 時 20 分 **第 2 セッション「壁をこえる、 つながるアート**」

登壇者: 堤 佳奈 (三重県文化会館「介護を楽しむ」「明るく老いる」アートプロジェクト担当) [三重県]

横堀 ふみ (特定非営利活動法人 ダンスボックス プログラム・ディレクター) [兵庫県]

山野 真悟 (認定非営利活動法人 黄金町エリアマネジメントセンター 事務局長) 「神奈川県]

モデレーター: 若林 朋子 (プロジェクト・コーディネーター/プランナー、立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科特任

教授、2018年度国際交流基金地球市民賞選考委員)

概要: アートの長所である「ボーダーレス性」により、様々な立場の人々がどのようにつながって多文化共生等の

社会課題に生かせるか、またアートがどのような影響を及ぼしているのか。様々な事例をもとに語り合う。

■16時40分 クロージングセッション

質疑応答、田村委員より総括

■17 時 閉会

以上

【国際交流基金地球市民賞について】 https://www.jpf.go.jp/j/about/citizen/index.html

国際交流基金地球市民賞は 1985 年に創設されました。全国各地で国際文化交流活動を通じて、日本と海外の市民同士の結びつきや連携を深め、互いの知恵やアイディア、情報を交換し、ともに考える団体を顕彰する事業です。応募団体の対象活動は「文化芸術による地域づくりの推進」「多様な文化の共生の推進」「市民連携・国際相互理解の推進」の 3 分野で、自薦・他薦を問わず応募できます。今年度の応募締め切りは、2019 年 8 月 13 日(※郵送の場合は当日消印有効)です。

この件に関するお問い合わせ:

国際交流基金 コミュニケーションセンター (広報担当:熊倉、原田)

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

